

要 項

一、 出来よなけ 原稿用紙を用いよこと

尚書
本人の理在此況

二、 作品の巧拙は問はず、真率にして胸をうつもの

1 家族の死又は事故
2 本人の負傷
3 被曝場所

三、 取捨選択は編集者に委せよこと

4 住所
5 ケイ或者は筆名

四、 原稿の末尾に、生年月日、年令、学級名、被曝状況（家族の

ちくる本人のあはれはけりて）を付記されたい。

五、 原稿の切、六月二十日、（八月までに出版予定）

六、 送料は、広島市平野町一平が三アパート十五号

原稿の送り先は、広島市平野町一平が三アパート十五号

これらの教祖の推薦状のようなもの
をそえて各学校の先生に郵送するよ。

拝啓 時下益々清洋の好事と拝察、お喜び申上げます。
さて此の度、表記青木書店より生徒、児童の作品を主とした
原爆をテーマにした詩集が刊行されることとなり、当方にも
その好事を依頼して参りました。

平和憲法の行方さえ望まじうな現在の混沌とした時代
中で原爆に対する純真な魂たちの叫びを広く社会に普及
することは大急ぐの私達として進んで果てねばならぬ好事であり
出版の方しき分情報おまわし見逃しぬつて参ります。
直ぐは編輯部の着手することといたしました。

然しこのような好事は到地、少人数の力でほろしとけることは
むづかしく、まして原爆をうける大急ぎから全国あつた
全世界の人々におくる心かろう叫びとして此の意図を成せし
めるためにはぜひ先生方の協力を得ねばならぬと
思っています。

幸いに日教組の了解のもとに県、市教組の全面的な
の援助を受けることが出来ます。それは何より心強いこと
なにして居ります。

つきましては原爆遺集のためには盡力を仰ぎたく
貴下、担当される生徒、児童を主体に手の届かきりに
於て出来るだけ多くの作品を収集して下さいように
の願ひ申上げます。又左記の要項にとうようの配慮
下されば幸甚と存じます。

敬具

一九五二・五・三一

殿

原爆を南する詩集
編集委員会

味

三 詩